

## 令和7年度福井大学医学部附属病院臨床研修医募集要項

福井大学医学部附属病院では、研修医マッチングに参加し、下記のとおり令和7年度臨床研修医を募集します。

研修プログラム等は、ホームページ (<http://sotsugo.hosp.u-fukui.ac.jp/initial>) で詳しく掲載していますので是非ご覧ください。

### 1. 募集人員 (予定)

臨床研修Aプログラム	(No. 030331511)	22名	(大学病院で2年間研修)
〃 Bプログラム	(No. 030331512)	2名	(1年目を大学病院, 2年目を協力病院で研修)
〃 Cプログラム	(No. 030331513)	14名	(1年目を協力病院, 2年目を大学病院で研修)
小児科重点プログラム	(No. 030331514)	2名	
産婦人科重点プログラム	(No. 030331515)	2名	

たすきがけ臨床研修協力病院：福井県立病院，福井赤十字病院，福井県済生会病院，  
福井総合病院，市立敦賀病院，杉田玄白記念公立小浜病院，  
公立丹南病院，市立島田市民病院，市立長浜病院，  
京都桂病院，京都岡本記念病院，京都第一赤十字病院，  
宇治徳州会病院，舞鶴共済病院

※上記プログラムを一括して募集します。応募者は1回の試験で全てのプログラムを受験したことになりますので、マッチング登録の際には、希望するプログラム全てに優先順位をつけて登録してください。

※上記のプログラムNo. は、変更される場合があります。

### 2. 応募資格

- (1) 医師免許取得者又は第119回医師国家試験を受験する者
- (2) 医師臨床研修マッチング協議会の研修医マッチングに参加する者

### 3. 応募方法

- (1) 応募期間

令和6年6月1日(土)～7月31日(水)

- (2) 応募書類

※所定様式はホームページからダウンロードできます。

また、ホームページにて、応募登録フォームからの入力による応募も可能です。

(ただし、成績証明書は、別途研修センター宛に郵送願います。)

- ① 臨床研修医応募願書(所定様式)
- ② 履歴書(所定様式)
- ③ 自己推薦書(所定様式)
- ④ 成績証明書

### (3) 書類提出先

応募書類を一括して、応募期間内に本学臨床教育研修センター宛に郵送又は持参してください。(締切日必着)

## 4. 選考方法

### (1) 選抜方法

書類審査及び面接により選考し、研修医マッチングシステムにより決定されます。

### (2) 面接日

受験日は令和6年8月に複数回設定します。その中から1日を選択してください。  
詳細はおってホームページに掲載します。

### (3) 場 所

福井大学医学部附属病院 臨床教育研修センター

## 5. 研修医の処遇

身 分	非常勤 (契約職員)
給 与	月額約 385,000 円 (基本給, 臨床研修手当, 超過勤務手当 (約 45 時間の場合) ※超過勤務手当は救急部時間外研修を含む
賞 与	1 年次 年間 213,000 円, 2 年次 年間 328,000 円
手 当	通勤手当 (本学規定により支給)
休 暇	採用から 6 ヶ月継続勤務後に 10 日の年次有給休暇を付与 夏季休暇等 6 日
宿 舎	借上げ宿舎あり (家賃月額約 20,000 円)
勤務時間	8:30~17:15 (休憩 60 分)
時間外勤務	有り
当 直	救急部時間外研修: 4~5回/月 当直時間: 準夜 17:30~23:30 日勤 8:30~17:15 (休日のみ)
研修医室	個人用机あり、共用スペースあり
社会保険等	文部科学省共済組合 (短期給付), 厚生年金, 労災保険, 雇用保険適用
医師賠償責任保険	福井大学病院において加入
定期健康診断	年 1 回
学会等への参加	発表者の学会旅費・参加費全額支給 (国内外問わず)
そ の 他	自己研鑽のための旅費・参加費・図書購入費等 (年間 15 万円) * たすきがけの臨床研修協力病院における処遇は、当該病院の定めるところによります。 * 医師法に基づき、研修中のアルバイトは禁止しています。

## 6. 研修の特徴

福井大学病院は他の大学病院にはない、研修に適した環境を有しています。

- ① 重症、難治性疾患のみではなく一般の患者も経験でき、プライマリーケア習得に最適  
地域への医療に力を入れており、大学病院でありながら一般的な疾患も十分経験できる  
市中病院の雰囲気をもった大学病院であり、研修医は2年間で、通常は市中病院で経験す

る common disease を中心とした疾患と、大学病院でしか経験出来ない重症・難治性の疾患の双方を経験することができます。

初期研修の最大の目的である基本的救急処置を含むプライマリーケアの習得に最も適しています。

② 救急患者の初期対応力が身につく

全国的にも稀な E R 型救急部と総合診療部が一体化した診療体制が取られており、どの科をローテートしていても、月に 4～5 回程度の準夜帯と休日の日勤帯等において救急部での研修を 2 年間通して行います。これにより、将来どの専門分野に進んでも、当直などの際、救急患者の初期対応が可能となります。

E R では 24 時間、救急総合診療に精通した医師が常駐して指導します。

③ 熱心で、質の高い指導

大学病院はスタッフも多く、研修医や学生を指導してきた経験も豊富で、市中病院に比べ指導力に優れています。これを生かして、common disease や見落とすと危ない疾患などをテーマとした研修医向け勉強会「コアレクチャー」を年間通して数多く実施しています。

また、一般病院では経験できない最新の治療を学ぶことができ、興味があれば基礎研究も行えます。

## 7. 病院見学

病院見学を随時受け付けています。見学希望日と希望する診療科を臨床教育研修センターまでお知らせください。(メールによる申込み可)

## 8. 臨床研修プログラムにおける想定労働時間 (詳細はホームページ参照)

## 9. 書類提出先及び問い合わせ先

福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

担当：病院部総務課研修担当

TEL:0776-61-8600 FAX:0776-61-8224

E-mail [sotsugo@med.u-fukui.ac.jp](mailto:sotsugo@med.u-fukui.ac.jp)

URL <http://sotsugo.hosp.u-fukui.ac.jp/>

(参考) 6. 研修の特徴

変更後	変更前
<p>① <u>重症、難治性疾患のみではなく一般の患者も経験でき、プライマリーケア習得に最適</u>  <u>地域への医療に力を入れており、大学病院でありながら一般的な疾患も十分経験できる市中病院の雰囲気をもった大学病院であり、研修医は2年間で、通常は市中病院で経験するcommon diseaseを中心とした疾患と、大学病院でしか経験出来ない重症・難治性の疾患の双方を経験することができます。</u>            初期研修の最大の目的である基本的救急処置を含むプライマリーケアの習得に最も適しています。</p> <p>③ 救急患者の初期対応力が身につく  <u>全国的にも稀なER型救急部と総合診療部が一体化した診療体制が取られており、どの科をローテートしていても、月に4～5回程度の準夜帯と休日の日勤帯においてER型救急部（北米型救急）での研修を2年間通して行います。これにより、将来どの専門分野に進んでも、当直などの際、救急患者の初期対応が可能となります。</u>            ERでは24時間、救急総合診療に精通した医師が常駐して指導します。</p> <p>③ 熱心で、質の高い指導            大学病院はスタッフも多く、研修医や学生を指導してきた経験も豊富で、市中病院に比べ指導力に優れています。これを生かして、全科総動員で研修医向け勉強会「コアレクチャー」を年間通して数多く実施しています。また、一般病院では経験できない最新の治療を学ぶことができ、興味があれば基礎研究も行えます。</p>	<p>① <u>プライマリーケア習得に最適</u>  <u>全国的にも稀なER型救急部と総合診療部が一体化した診療体制が取られており、初期研修の最大の目的である基本的救急処置を含むプライマリーケアの習得に最も適しています。</u></p> <p>② 救急患者の初期対応力が身につく            どの科をローテートしていても、月に4～5回程度の準夜帯と休日の日勤帯においてER型救急部（北米型救急）での研修を2年間通して行います。これにより、将来どの専門分野に進んでも、当直などの際、救急患者の初期対応が可能となります。            ERでは24時間、救急総合診療に精通した医師が常駐して指導します。</p> <p>③ <u>重症、難治性疾患のみではなく一般の患者も経験できる</u>  <u>地域への医療に力を入れており、大学病院でありながら一般的な疾患も十分経験できる市中病院の雰囲気をもった大学病院であり、研修医は2年間で、通常は市中病院で経験するcommon diseaseを中心とした疾患と、大学病院でしか経験出来ない重症・難治性の疾患の双方を経験することができます。</u></p> <p>④ 熱心で、質の高い指導            大学病院はスタッフも多く、研修医や学生を指導してきた経験も豊富で、市中病院に比べ指導力に優れています。これを生かして、全科総動員で研修医向け勉強会「コアレクチャー」を年間通して数多く実施しています。また、一般病院では経験できない最新の治療を学ぶことができ、興味があれば基礎研究も行えます。</p>